

# 母性看護学講座

## Maternity Nursing

教授	永山くに子	Kuniko Nagayama
助教	松井 弘美	Hiromi Matsui
助教	二川 香里	Kaori Futakawa
助教	齊藤佳余子	Kayoko Saitou
助手	三加るり子	Ruriko Sanga

### ◆ 著 書

- 1) 永山くに子：わが国における助産師教育の歴史。「助産学講座 1 基礎助産学[1] 助産学概論」我部山キヨ子他編，166-174，医学書院，東京，2010.
- 2) 永山くに子：諸外国における助産師教育。「助産学講座 1 基礎助産学[1] 助産学概論」我部山キヨ子他編，175-183，医学書院，東京，2010.
- 3) 永山くに子：オランダにおける助産活動と教育。「助産学大系 1 助産学概論」青木康子他編，298-308，医学書院，東京，2010.

### ◆ 原 著

- 1) 石丸敏子，五本友子，若杉 央，守田万寿夫，永山くに子：新卒看護職員の確保・定着に向けた行政による支援システム。看護展望，35(5)：62-67，2010.

### ◆ 学会報告

- 1) Nagayama K.: Development and Challenges of Traditional Nursing in Japan. 4th Asia Pacific Traditional Nursing Conference, 2010, 11, 11-12, Taiwan. (Invited lecture)
- 2) 松井弘美，永山くに子，島田啓子：分娩介助 10 例における学生の学び—分娩介助実習体験を中心に—。第 24 回日本助産学会学術集会，2010，3，20-21，筑波。
- 3) 杉下真未，齊藤佳余子，永山くに子：医療系大学生が行ったピアエデュケーション活動による性教育の効果の検討—高校生の意志決定・性に関する受けとめなどを中心に—。第 41 回日本看護学会—母性看護—学術集会，2010，7，29-30，筑波。
- 4) 三加るり子，永山くに子：ニュージーランドにおける助産師基礎教育と助産師業務の実際。第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会，2010，11，5-6，金沢。
- 5) 松井弘美，永山くに子：分娩介助における学生の学びについての教育評価。第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会，2010，11，5-6，金沢。
- 6) 桑田理加，今井芽理，永山くに子：第二子を迎えようとする第一子の受容過程に関する研究。第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会，2010，11，5-6，金沢。
- 7) 高浪陽子，小堀真祈子，追分めぐみ，岸本麻里，永山くに子：「妊産婦の安心を引き出す助産師の関わり」に関する文献レビュー。第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会，2010，11，5-6，金沢。
- 8) 平田真由美，高井雅美，永山くに子：哺乳・授乳行動アセスメントツールをめぐる基礎研究—生後 48～72 時間に 10%以上体重減少した児の観察から—。第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会，2010，11，5-6，金沢。
- 9) 戸田 肇，中山洋子，石井邦子，石原 昌，大平光子，大見サキエ，黒田るみ，小松万喜子，土居洋子，東サトエ，工藤真由美，田村正枝，永山くに子，松成裕子，丸山育子：看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究—その 3：1 年目看護師の看護実践能力の特徴とその発達。第 30 回日本看護科学学会学術集会，2010，12，3-4，札幌。
- 10) 工藤真由美，中山洋子，永山くに子，東サトエ，石原 昌：看護実践能力を測定する尺度（質問紙）の開発—その 4 併存妥当性の検討。第 30 回日本看護科学学会学術集会，2010，12，3-4，札幌。
- 11) 松井弘美，永山くに子，島田啓子：学士課程で助産を選択する学生の分娩介助における学びの過程。第 30 回日本看護科学学会学術集会，2010，12，3-4，札幌。
- 12) 松井弘美，永山くに子：助産師教育の文献レビューからみた今後の課題。第 25 回北陸母性衛生学会学術総会，2010，7，24，金沢。

- 13) 三加るり子, 永山くに子: ニュージーランドにおける助産師業務の実際. 第 25 回北陸母性衛生学会学術総会, 2010, 7, 24, 金沢.

◆ **その他**

- 1) 永山くに子, 稲垣富士子, 谷村秀子, 神田敬子, 松井弘美, 齊藤佳余子: 看護教員の養成とキャリアアップに必要な教育システムの再構築に関する研究報告書.
- 2) 中山洋子, 永山くに子, 稲垣富士子, 谷村秀子, 神田敬子, 松井弘美, 齊藤佳余子: 看護教員の養成とキャリアアップに必要な教育システムの再構築に関する研究. 平成 21 年度 研究報告書 (その 2), 179-209, 2010.